

工 法 の 名 称		埋 込 み 工 法
分 類 表 に よ る 工 法 名		プレボーリング拡大根固め工法
工 法 名		RODEX工法
施 工 法	概 要	<p>拡大ビットと攪拌翼を有する掘削ロッドを用いて、掘削液を吐出しながらプレボーリングを行い、地盤を泥土化させた掘削孔を設け、支持層に拡大根固め球根を築造する。</p> <p>掘削孔に特殊キャップにセットした杭を建込み杭自重及び回転埋設によって、築造している拡大根固め球根部に杭を定着し、杭と支持層の一体化を図る工法である。</p> <p>この工法には、杭周固定液を使用する方法と使用しない方法とがある。</p>
	施 工 順 序	
	支持力発現方式	セメントミルクによる杭先端拡大根固め
支 持 層 の 確 認 方 法		土質柱状図とオーガ掘削時の電流値との比較
支 持 力 算 定 方 式		<p>① 杭周固定液を使用する場合</p> $R_a = \frac{1}{3} \left\{ \alpha \bar{N} A_p + \left( \frac{1}{5} \bar{N}_s L_s + \frac{1}{2} \bar{q}_u L_c \right) \phi \right\}$ <p>但し、<math>\bar{N}_s \leq 25</math>, <math>\bar{q}_u \leq 10t/m^2</math></p> <p>② 杭周固定液を使用しない場合</p> $R_a = \frac{1}{3} (\alpha \bar{N} A_p + 1.5L\phi)$ <p><math>\alpha = 25 \dots \dots \dots (l \leq 90D)</math>  <math>\alpha = 25 - \frac{1}{4} (l/D - 90) \dots \dots \dots (90D &lt; l \leq 110D)</math></p>
施 工	施 工 地 盤	流水の激しい地盤及び崩壊しやすい地盤は検討が必要
	施 工 能 率	(500φ - 40m) 120~160m/日
公 害	騒音(音源より30m)	70ホン以下
	振動(振源より10m)	60デシベル以下